

年頭にあたり

「梅開早春」
 「さらなる向上を」

総長 池田 魯參
 学長 廣瀬 良弘



未来に繋がる
 自分へ繋げる



● 年頭にあたり	2
● 在職中の思い出	4・5
● 就職活動体験記	6
● KOMAZAWA NEWS	10
● サークル活動報告	15
● 駅伝 陸上競技部 全日本大学駅伝優勝、箱根駅伝総合2位	16

迎春

年頭にあたり

梅開早春

総長 池田 魯參



新年おめでとうございます。

年頭に当り、学生諸君、教員・職員諸兄姉にとって今年も嘉き歳と成りますよう、心から祝祷申し上げます。

この句は『正法眼蔵』『梅花』巻に出ます。道元禅師は、元旦に如浄禅師が語られた、

「元正啓祚、万物咸新、伏惟大衆、梅開早春」

(元正、祚を啓き、万物咸く新たり。伏して惟みれば大衆、梅、早春に開く)

という言葉が引用され、「梅、早春に開く」と喝破された如浄禅師の本懐を高く評価されます。その理由はどうかでしょうか。

正月元旦に歳が改まると、すべては新しい歳における物事として始動します。苦しい時期も過ぎ去って物事が良い方向に進転する「一陽来復」の時は、あらゆる人に等しなみに恵まれる天然の摂理であるといえましょう。しかし「思うに皆さん、梅は早春に開花する」のだというのです。想い遣れば、梅は長い間積雪に埋まり寒苦を忍んで初めて開花の時を迎える（「雪裡梅花只一枝」）のです。そして、年輪を刻んだ老梅樹の枝の端に香ぐわしく満開の花を咲かせる（「梅花満旧枝」共如浄語）のです。

道元禅師の評唱に拠って、身近な極く日常的な時間が細やかな禅趣を湛えていたことに気づかされます。端麗で芯が強い梅花のように、私たちも誉るべき駒澤大学の良き学問の伝統を継承し、時の利を得てそれぞれが今、ここでなすべきことを精いっぱい果たさなければならぬと、そんな新たな気持が凜乎と湧き起こる思いがいたします。

さらなる向上を

学長 廣瀬 良弘



新春を寿ぎ、皆さまのご多幸をお祈り申し上げます。さて、昨年の本学には、「上向き」の風を感じることができました。硬式野球部は26季、13年ぶりに東都大学野球秋季リーグ戦優勝、明治神宮野球大会でも13年ぶり5度目の優勝を遂げ、陸上競技部は11月の全日本大学駅伝で、4連覇、通算12勝の最多優勝となり、正月の箱根駅伝の頂点をめざしました。ボクシング部は、仁川のアジア大会で林田選手とOBの清水選手が銅メダルを獲得し、田中選手は国体4連覇を果たし、空手道部も全国大会・世界大会で、男女ともに大活躍しています。

スポーツばかりではありません。学生諸君の健康と早起きを促すためにはじめた100円朝食は好評を博し、各種メディアに報道されて、大学のイメージアップにもなりました。また、入試も志願者を2千人ほど増加させ、受験生向けのオープンキャンパスでは、5日間で、2万人の大台を初めて突破し、一方で、就職力上昇の注目の大学のトップ10に入るなど（朝日新書）、本学全体が上向いてきた感じがします。本年もこの風を受けて勉学・就活・研究に励みましょう。

今日、クールジャパンが強調され、「禅と日本文化」が注目される中で、「駒澤大学開校130周年記念棟」の工事が5月から始まります。平成29年末予定の完成の暁には駒沢公園の森に向けて広がる一層爽やかなキャンパスが実現いたします。しかし、工事中もそれを感じさせない、禅の大学らしく、清潔・シンプル・クール・枯山水・日本庭園・緑・自然をコンセプトとする「美化」を心がけ、落ち着いた学習環境の維持に努めます。

一松語

仏像を前にして、人は何を思うだろう。この仏像は自分が生まれる千年も前に造られたもので、自分がこの世からいなくなっても存在し続ける——そんなことをロマンティックに考える人も少なくないだろう◆東京の博物館で展覧会が開かれると数時間待ちというのが普通になってきた。国宝をはじめ、数々の美術品が出張してくるのありがたい。至宝をこの目で見たいと、人は黒山を築いて展覧会に駆け付け

る。しかし実際に国宝を目の前にすれば、それを目に焼き付けるのみならず、何をかものを思わざるを得ない気持ちになるだろう。何がしかの物思いさせる力を持つものを、人は文化財と呼ぶのかもしれない◆小林秀雄の『無常といふ事』から鑑みれば、現世は諸行無常であり仏像は「常なるもの」といえるのだろう。木材や乾漆からできあがった仏像は、自ら行うことをせず、何事も起こさない。流行りの言葉を使えば「ありのまま」の姿を常に見せてくれる。歴史を経た仏像の前に

すると、人は知らず知らずのうちにその「常なる」姿を鑑とし、自分を映してみるのかもしれない。無常に置かれた自分を省み、物欲から解放され、謙虚にありのままでありたいと願いを込めることもあるだろう◆学生時代、定期試験明けの1月に友人と奈良を巡ったことを思い出す。観光シーズンを外れた堂内は極端に人が少なく、わずかな光の中で見る仏像はひととき神秘的で、合掌する手を解くのを忘れた。仏像と私の間で、時の流れが止まったのだった。

記念講堂が新しくなりました！

6月16日(月)から行われていた駒沢キャンパス記念講堂の改修工事が、10月30日(木)に終了しました。記念講堂は、「駒澤大学開校100周年記念事業」の一環として、1982(昭和57)年に建てられました。2012(平成24)年に天井の



一新した記念講堂

耐震対策は完了していましたが、この度の改修工事で客席が一新され、メモの取れるミニテーブル付き椅子となり、ホワ

イエ(正面入口を入ってすぐの空間)は明るいLED照明に変わりました。トイレもより快適な空間となり、バリアフリーにも配慮しています。ほかにスロープも増設しました。工事期間中の皆さまのご協力に感謝するとともに、これからも学内施設の安全対策・バリアフリー化に取り組んでいきます。



椅子のメモ机は収納式

(広報課)

仏教行事について

高祖降誕会

仏教学部教授 飯塚 大展

高祖とは、曹洞宗の開祖である道元禪師(1200～53)を呼称します。降誕会(ごうたんえ・こうたんえ)は、4月8日、釈尊の生誕を祝う釈尊降誕会(灌仏会・花祭り)が最もポピュラーですが、各宗の宗祖の生誕を祝う法会も降誕会として法要が営まれています。曹洞宗では、道元禪師は正治2年1月2日のご生誕との説に基づき、明治以降太陽暦に換算して1月26日に降誕会を営んで参りました。禅林行事では、祖師顕彰の意をこめて忌日(亡くなられた日)に法会が行われるのが常でしたから、キリスト教の影響(クリスマス)を想像してしまいます。しかし、現状では判然としません。

道元禪師は、『新古今和歌集』の撰者で堀川大納言と称せられた源(久我)通具の子として生まれました。鎌倉時代、朝廷と武家が権門として拮抗し、相対立する時代に、村上天皇の苗裔という名流に生まれたことは、道元禪師の思想形成に大きな影を落としたものと推察されます。そして、後に当時のオーソドックスであった顕密仏教を批判し、自らの信ずる正法(正しい教え)を決然と明示した道元禪師に畏怖の念を禁じ得ません。



涅槃会

仏教学部教授 四津谷 孝道

中国や日本では、仏教の開祖である釈尊の亡くなられた日を2月15日とし、「涅槃会」という行事が営まれる。「涅槃」とは、苦しみ・迷いのない境地のことであり、「会」とは法会すなわち法要のことである。釈尊は、29歳で出家され、そして35歳の時に悟りを開き涅槃を得られたと考えられる。だが、釈尊は80歳で入滅すなわち亡くなられたことによって真の涅槃を得られたとみなし、その遺徳を偲んで法要が催されるようになった。それは、もともと悟りを開いて仏になることを示す「成仏」ということばが、いつしか人が亡くなることを示すこととも関連するのかもしれない。ともかく、キリスト教やイスラム教とは異なり、その開祖が神ではなく、人としてこの世に生をうけ、そして人として静かに死を迎えられたことは、仏教という宗教を理解するひとつの重要な端緒となる。

原始経典の中には、死期を間近にした釈尊の姿を伝える『大般涅槃経』という経典がある。そこには、師の亡き後、修行者はそれぞれ自身を拠り所とし、そして釈尊という人格をけっして権威とすることなく、その教え(法)をまさに拠り所として、怠ることなく修行を全うすべしという、遺訓が残されている。



在職中の思い出



中世英文学への夢と光

文学部教授 河崎 征俊

駒澤大学で教鞭をとり始めてから今年の3月で41年となります。在職中の一番の思い出は、1986年から1988年にかけて、英国のケンブリッジ大学のデレク・ブルーワ教授のもとで中世詩人チョーサーが学べたことです。この詩人の〈自由〉の精神を写本を通して知り得たことは最高の喜びでした。これもすべて、

学問に対する大学側の寛大な精神があったからだと思います。英国の中世が日本の仏教の時代と重なっていたことも不思議なく縁>でした。〈学問の自由〉を与えていただいた大学の皆さんと学生の皆さんに深く感謝いたします。



懐かしい思い出

文学部教授 伏島 正義

楽しい思い出の一つは、4月初めの新生修旅行の、とりわけ第二日目の松代町である。ある年、学生と離れ独り象山に登った。頂上は公園になっており、折りしも桜が満開であった。小鳥の囀り以外は物音一つとなく、静寂に包まれていた。岬のように突き出た頂上から南西方向には清野の耕地が広がり、そ

の周縁には妻女山、北方には海津城（松代城）を見下ろすことができた。その昔武田と上杉それぞれの軍勢はこの一帯で死闘を演じたのであろう。頂上の地下数百メートルでは、滴り落ちる清水の音を夢枕に、象山地下壕が眠っていた。敗北迫る大戦末期、この地下壕にはどんな風が吹いていたのであろうか。



ゼミ指導の喜び

経済学部教授 大石 雄爾

41年の在職期間が間もなく終わる。私にとって、大学における一番の思い出はゼミ（経済学演習）にある。全期間にわたって担当した唯一の科目であるが、少人数制の利点を活かし、いつでも学生とじかに向かい合って指導したり議論することができたからである。通常の授業のほかに、地方での合宿

や集中ゼミ、工場・東証の見学等もしばしば行われ、ゼミ生が経験を積み知識を習得する場にもなった。ゼミ活動の仕上げは卒業論文の執筆であるが、完成論文は『経済学ゼミ論集』（最終刊は第34号）に収められている。各号には、ゼミ生諸君の努力と成長の証左が詰まっている。いまや私の宝である。



わがゼミ生たちと経済学部

経済学部教授 大吹 勝男

学問を重んじる母校の博士課程を修了し、本学の経済学部へ籍をおくことになった。当時の経済学部は古い殻を破り新しい時代に船出している雰囲気の良い学部であり、そこで教育・研究労働者として働けることを喜びに思った。経験からしてゼミあつての大学と考える私にとって、ゼミ生たちとの出会いは楽

しい時間であった。あまりにも活発すぎて二度と同じ民宿での合宿はなかったが、なんとも楽しく懐かしい思い出である。今も彼らとの交流が続くことは幸せなことである。あれから40年、生きて定年退職を迎えられることには感慨深いものがある。



彷徨の後に得た新境地に感謝

経済学部教授 小杉 修二

私は1982年以来本学に勤務し、中国経済と地球温暖化を研究してきました。中国については超大国志向が私の独自の視点です。温暖化については21世紀の文明の破綻か文明の再構築かという問題と考え、何としてもその解決策を見出そうと研究してきて、やっとその道筋が見えたところで退職となります。その

中で、私は自分の思想的立場が根本的に変わる過程だと気がきました。私の到達した立場は一言でいえば「保守」です。施策は実現可能なものであるべきだということです。多くの友人との交流の中で、勉強をさせていただいたことに感謝しております。

平成27年3月31日に定年退職される先生方に 在職中の思い出を語っていただきました。



山なす思い出

法学部教授 荒木 正孝

本学に職を得てから今日まで、数えきれないほど多くの思い出があります。なかでも楽しく、かつ忘れがたいのは教え子たちとの交流です。学生たちは学問に尊敬の念を抱き、勉強意欲も旺盛でした。ゼミのリポーターに指名されると他の授業を全て休んで発表のための準備に没頭したとは、ある卒業生の弁で

す。ゼミ合宿は年に2、3回行いました。その時は、卒業生も参加し学年を越えて和やかに飲みかつ語り合い、そんな中から数組の夫婦が誕生しました。教え子たちとの親交は、生涯の宝であり、それを授けてくれた駒澤大学には心より感謝いたします。



半世紀を越えて

法学部教授 鶴井 俊吉

駒澤大学に入学したのは、1964年（昭和39年）東京オリンピックの年でした。以来、学生として9年間、教員として42年間過ごしたことになります。その間、とくに有難かったことは、2度にわたるドイツへの在外研究の機会を与えていただいたことです。ここでの有意義な時間を過ごせたことは、研究の足掛

かりとなり、大きな財産となっています。しかし、不器用な講義で、本学の学生に興味を持ってもらえる授業ができたかどうか甚だ心もとありません。よき師に恵まれ、よき同僚、親切な職員の方々に助けられ、毎年学生たちを送り出すことができたことに感謝いたします。



国際交流プログラムを有効に

総合教育研究部教授 高橋 俊介

私が昭和48年より3年間オーストラリア滞在中に、クィーンズランド大学（QLD）で日本語日本文化を教える内山浩道先生と出会い、海外で活躍する姿に感動すると共に、本学の学生が海外で活躍できる人材となるよう是非QLDで学ばせたいと相談しました。

私も当時の総務部長に相談し、語学プログ

ラム協定が結ばれました。締結から25周年を迎え、内山先生の奥様である加代子先生のご尽力もあり、益々学生が参加していることを嬉しく思います。本学の学生がグローバルな社会で活躍できることを祈り、退任の挨拶とさせていただきます。

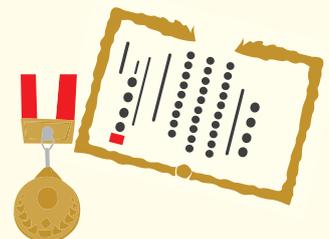
大久保治男名誉教授が 秋の叙勲を受章

大久保治男本学名誉教授（元苫小牧駒澤大学学長）が、秋の叙勲「瑞宝中綬章」を受章しました。大久保先生は彦根藩重役の家系であり、明治4年に藩庁より大久保家に贈られた埋木舎（井伊直弼学問所）を保存、公開しました。彦根藩公文書約2万点をマイクロフィルムなどで公開し、井伊直弼の文化人的側面等の研究をしたことによる功績の大きさが認められたものです。また、大学教員として私立大学の設立に尽力し、50年以上の教員生活で教育研究に貢献したことも評価され

ました。

※ 瑞宝中綬章…日本の勲章の一つで、瑞宝章6つのなかで3番目に位置する。

公共的な職務の複雑度、困難度、責任の程度などを評価し、重要と認められる職務をはし成績をあげた人に対して授与される。





就職活動は「自分を知らず」

経済学部経済学科4年
島方 杏子



私は就職活動当初、自信を持っている自己PRがなく、どこから手をついたらよいか全くわからない状態でした。そんな私が就職活動を前向きに取り組むことができたのは、周囲の人々の協力があつたからです。家族や友人、先輩、先生等さまざまな人に「私はどんな人？」と質問すると今まで気づかなかった自分を知らずることができました。また、自身でも今までの人生をさかのぼり、どんな時に喜びややりがいを感じたか、なにが好きでなにが嫌いかなどひたすらノートに書きだしました。その結果、「周囲に働きかけながら目標や課題に取り組むことができる」という強みを見つけました。そしてこの強みを生かせる仕事を選ぶことができました。講義、サークル、部活、ゼミ、アルバイト、趣味、遊び…自分の好きなこと、頑張っていることに全力で取り組んでください！ほんの小さいことでも自分が全力で取り組んだことは強みとなります。

最後に、私が就職活動で最も大切だと感じたことは、笑顔で明るく受け答えをし、自分のことをしっかり伝えることです！

(内定先：三井住友海上火災保険株式会社)

自らのこだわりと共に就活に挑もう

法学部法律学科4年
齊藤 真篤



私には宇宙・防衛産業へ携わりたいという強い思いがあり、本業界を第一志望に据えた上で就職活動を行いました。この業界の特徴は数が少なく大企業ばかりという点にあり、僅かでも内定の確率を高めようと、インターンシップに挑戦しました。

インターンシップは通常数日にわたって行われるため、本選考よりも長い時間自身の能力をアピールすることができます。他の就活生と比べ、秀でた経験を持たない私にとって、現場でのプレゼン能力や企画の立案力を試されるプログラムは理想的とも言えるものでした。また企画と発表において好評を得られたこと、指導をくださった社員の方々とコネクションを築けたことで、採用活動でもスムーズに選考を進めることができました。

広い視野、多くの行動という助言は良く聞きます。私もそれ自体は否定しません。しかし、自身の強みと志向を理解した上でそれに合致した就職活動を行えたならば、より大きな成果を得られます。皆さんも自己分析を徹底した上で、自分のこだわりと共に就活に挑んでみてください。

(内定先：日本電気株式会社)

キャリアセンターイベント情報



①「第4回就職ガイダンス」

4月から開催してきた就職ガイダンスもラストとなります。3月1日からの就職活動解禁に向けて、準備は万全でしょうか？

●3年生・修士1年生対象	場所：記念講堂
【法学部・経営学部】	1/27(火) 13時～14時30分
【文学部・GMS学部・医療健康科学部・大学院】	1/28(水) 15時～16時30分
【仏教学部・経済学部】	1/29(木) 13時～14時30分

②「学内合同企業説明会」

キャリアセンターでは、年間1,000以上の企業・団体を学内にお招きしています。

●3年生・修士1年生対象	場所：体育館
第1回合同企業説明会(4日間で450社予定)	3/10(火)～3/13(金)
●4年生・修士2年生対象	場所：記念講堂
第11回合同企業説明会(希望企業による学内一次選考あり)	1/30(金)

キャリアセンターからのお知らせ

例年であれば、定期試験終了後春休みに突入するので一息つくところでしょう。

今年からは、ご存知のとおり、3月1日から就職活動の本番を迎えます。3年生にとっては、なかなか気が休まらないことと思います。

就職活動に限らず、スケジュールの管理は大切です。

3年生対象の第3回就職ガイダンス(11/10～11/12開催)で、「Career Hand Book 2016」を配布しました。就活ノートとして、本番でも役立つ情報を掲載しています。

就職活動中は、スケジュールやID・パスワードの管理が大変です。黒いリングのみの仕様なので、ダイアリーとしても好評です。是非、ご活用ください。



司法試験合格体験記

平成22年3月法科大学院修了 **早川 俊明**さん



私が駒澤大学法科大学院に入学した理由は、同法科大学院の理念が「人に寄り添う法曹」、「社会とつながる法曹」というものであり、私の思い描く法曹像に近かったからです。

司法試験は勉強する範囲が膨大であり、しかも深く勉強しようとするだけでいくらかでもできてしまうため、方向性を間違えると合格が難しい試験です。私も最初は勉強の方向性がわからず、何をして

よいかわからない状況でした。勉強を始めるとほとんどの人がこのような状況に陥ります。ここを抜け出すには先生や合格者から直接、個別に指導を受け、根気強く修正してもらうしかありません。駒澤大学法科大学院は、少人数教育であり、学生と先生、合格者の距離が近く、直接的な指導を受けることが容易な環境にあります。私も、先生や合格者に直前まで論文の指導をしてもらい、大変お世話になりました。そのおかげでなんとか方向性を修正することができ、合格することができました。



国際交流協定校 **クイーンズランド大学**

来日プログラム

今年で26回目を数える来日プログラムは、協定校のオーストラリア・クイーンズランド大学から18人の留学生を迎え、11月23日から12月14日の間、実施されました。

日本語授業を中心に構成した本プログラムは、授業の他にも空手や坐禅、茶道、書道といった日本の伝統文化を体験する実習や研修旅行などの内容が盛りだくさんです。なかでも、



空手の実習

本学のボランティア学生による「会話実習」は、同世代の文化や言葉の学びながら、お互いの距離をグッと縮める絶好の機会です。国際交流の場として両校の学生にとっても好評でした。



開講式でのホストファミリーとの対面

日本語授業からアクティビティに至るまで、全てに一生懸命取り組む留学生の姿がとても印象的でした。お世話になったホストファミリーや学生同士の交流も楽しみ、その成果を上げたと言えるでしょう。

留学生たちを温かく受け入れてくださったホストファミリーの皆さまに改めて感謝するとともに、両校の学生の今後の活躍を大いに期待したいと思います。（国際センター）

MySeminar 私のゼミ vol.135

グローバル・メディア・スタディーズ学部
グローバル・メディア学科4年 伊藤 史哉

各務 洋子ゼミ

各務ゼミは「グローバル経営」をテーマに、企業のマネジメントや戦略を研究しています。ゼミの目標は「社会でグローバルに活躍できる人間になること」。そのために、日々の活動の中心は大小様々に編成されたグループでチーム力を磨きます。毎週のゼミでは、マネジメントと戦略の理論、新聞/ビジネス誌/ネット情報等をベースとした経済



経営動向の理解など、目指す目標を念頭に、スピーチ、ディベート、プレゼンテーションを駆使して、人前で上手に話を

伝える技術を身に付けながら学習を進めています。

そこには、「経営学の理論をしっかりと理解し、グローバルな環境の中で現実の企業行動に応用する力をつけること」、「現実の企業社会で周囲の人と気持ちの良い関係を維持しながら、人前でしっかりと自分の意見を発表できる実力をつけること」という先生の願いが込められています。2年次にはビジネスゲームと業界構造分析、3年生には個別企業のケーススタディーによる徹底した企業分析、4年生では3年間の研究の集大成としてまとめる卒業論文と、学年毎の基本的な学習プログラムを基にして、自分たちの独自性も出して楽しみます。企業との連携企画プロジェクト、インカレゼミや、大学対抗のプレゼン大会で他流試合も多く経験します。私は就職活動を終え、東証一部上場企業に就職できましたが、ゼミでの全てのメニューが社会でそのまま通用し、面接では抜群の威力を発揮しました。グローバル経営の知識だけでなく、一人の人間として成長できる各務ゼミで貴重な経験を積んでいます。

研究こぼれ話

取調べの可視化

タイトルの言葉をご存じでしょうか。我が国の刑事司法制度を考える上で押さえておくべきキーワードの一つです。これは、警察や検察による被疑者の取調べを録音・録画する制度を指す言葉です。約35年前から導入の是非を巡る議論が重ねられてきましたが、この度、その方向性が示されました。



法学部准教授
田中 優企

法制審議会「新時代の刑事司法制度特別部会」は、裁判員裁判対象事件と検察官独自捜査事件（警察は関与せず、検察のみで捜査が行われる事件）を対象に、取調べの全過程を録音・録画する制度の創設を提案しました。今後は、この提案を基に法制化される見通しです。

取調べを録音・録画すれば、違法・不当な取調べが抑制されるでしょう。後に問題が発生した場合、取調べを事後的・客観的に検証もできます。度々繰り返されてきた取調べを巡る問題も、これで万事解決のようにも思われます。

しかし、事はそう単純ではありません。被疑者には、犯罪という恥ずべき行為の告白にためらう者や、証拠上明らかなのに様々な理由から罪を認めない者もいます。この場合、警察や検察は、対話により被疑者と信頼関係を構築して供述を引き出さなければなりません。録音・録画を意識する余り、それに支障が生じる可能性もあります。また、取調べでは、被害者や第三者のプライバシー、捜査中の他の事件の情報等も明らかになりますが、これらも録音・録画されてしまうことによる問題も指摘されています。

そのため、法制化に際しても、被疑者・被告人の人権保障と犯罪の解明・刑罰の執行双方からの冷静・着実な議論が求められます。

流れを見据えむ

国語學と書くと今風でないが、吾人が根拠した研究分野は、日本語と云ふ母國語であつて、書記言語とした漢字と假名とを混淆して記述する。舊字と歴史的假名使いを用いて表記された文獻資料を読み書きする世界であつた。なかでも古辭書と云ふ分野が近代の國語辭書、現代の『国語辭典』まで脈々と繼承してゐること、そこには不斷且つ「現實とのつきあはせ」が常に必要不可欠なものとなつてゐることを知る。平安時代末期に成立した『色葉字類抄』室町時代の『下學集』『節用集』を目下視座に据え、周圍する文獻古注釋書・往來物・抄物・記録文などと云つた文獻類からことばを探り、その表記・意味・用例を一語ずつ精査し、当代の知識者の編纂姿勢と後世の現代人における分類した語の意識化を具現していくことに盡きる。謂はば、コツコツと文獻資料を読み解き、漢語・和語・混種語・洋語などに分類していく。此等の語を幅廣く、且つ地道なまでに一語一語と蒐集し、語源・語誌にはじまり、長年の間に使い手が誤用化していくことをも解明する。ここ數十年間はPC機器をフル活用した言語テキストデータとして蓄積した語を高速検索で分析することで、今まで専門研究者だけでしか知り得なかつた孤例の語や多用例の語を精確に、瞬時に引き出して解析することを可能にした。情報機器で言語活用する。その言語内容をより多く精査し、より適確に検証する作業を日々まとも続けてきてゐる。大型なる電算機が小箱の大きさととなり、今やノートサイズとなつた時代の流れを追い求めてきた結果が今当に公開されつつある。



総合教育研究部教授
秋原 義雄

イタリア普伝寺より参観団が来校!

9月25日(木)、イタリア北部にある普伝寺(グアレスキー泰天住職)の参観団が本学に来校されました。普伝寺は、1984年に開創された曹洞宗寺院です。この度の来校は、禅研究所の石井清純所長(仏教学部教授)が、フランスで開催された国際禅協会(AZI)

主催の研修会に講師として出向いたことがきっかけで実現しました。

参観団の皆さんは、曹洞宗の祖跡巡拝の一環として本学を訪れました。ヨーロッパの禅が、本学で坐禅を指導していた澤木興道老師の法系に連なる弟子丸泰仙師の活動に基づいていることから、その淵源に触れることが目的です。

キャンパス見学では、坐禅堂で行った「澤木流」の坐禅に喜ばれ、また偶然にも禅文化歴史博物館で開催されていた澤木老師の企画展「澤木興道墨蹟展～



学生との茶話会

50回忌をしのんで～」も熱心に鑑賞されていました。

見学の後は、本学の学生との茶話会も開催し、日本とヨーロッパの修行環境の違いや「禅」の社会的意義などについて、質疑が交わされました。



坐禅堂での坐禅の様子

明日もきれいなキャンパスで

駒沢キャンパス清掃レポート

グローバル・メディア・スタディーズ学部 グローバル・メディア学科3年
ECO・環境保護団体「Green Grow」代表 大日方 康平

キャンパスで、普通の学生がゴミを拾う姿というのは印象に残りませんか。我々はECO・環境保護団体GreenGrow。『ECO』をテーマに、学内外問わず幅広く活動をしています。構内のエコキャップ収集や地域の古着回収、また専門家ご指導のもと生物多様性保護のための河川環境整備や、自然災害を防ぐための森林保全活動まで、内容は多岐に渡ります。

その中で我々の最も“キホン”ともいえるべき活動こそ、この構内清掃です。時間の合う者で集まり、その日限りのチームで分担してゴミを拾います。もしキャンパス内で腕章をつけた学生のゴミ拾い集団を見つけたら、それはGreenGrowです。ゴミを拾っている瞬間、私はヒーローになることができます。自己陶醉と言われればそれまでですが、私は自分にしかできない仕事として誇りを持って取り組んでいます。ゴミ拾いは、普段は目につかない場所にまで気を配る必要があり、拾った瞬間から世界は変わって見えるのです。景色、人、そして自分自身も。これを読んで興味を持った方は、是非一度共に活動してみませんか。最近は所属していない方も参加してくれることがあり、みんなで楽しく活動しています。



玉川キャンパス清掃レポート

仏教学部禅学科4年
体育会本部(少林寺拳法部) 久我 秀平

私たち駒澤大学体育会は、毎月末の土曜日に玉川キャンパス周辺の清掃活動をしています。清掃活動は、主に玉川キャンパスを活動の拠点としている団体のメンバーで行います。キャンパスの周りを1周するように清掃をするのですが、清掃活動をする上でとても驚いたことは、普段何気なく通行しているキャンパス周辺も、よく目をこらせばたくさんのゴミが落ちているということです。全く気づかないようなところにもゴミは落ちています。これは、このような清掃活動をしなければ気づくことはできなかったと思います。普段お世話になっている玉川キャンパスの周りを綺麗にすることは、とても気持ちのいいものです。

この活動を通して、何かが貰えるというわけではありませんが、みんなでゴミを拾うことにより色々な部活の人とコミュニケーションがとれ、また地域の住民の方々に「お疲れ様」、「ありがとうね」という言葉をかけていただくこともあり、とてもやり甲斐を感じます。また、掃除をするということは自分の精神を鍛えることにも繋がります。玉川キャンパス周辺の美化、駒澤大学体育会団体の心技体のレベルアップのために、この清掃活動は今後も続けて行きたいと思います。



あなたも、キャンパス清掃に参加しませんか？

～駒澤大学地域環境クリーン活動 参加者募集について～

本学は、恒常的に地域貢献を図る活動の一環として、毎月定期的に駒沢キャンパスと大学周辺地域の清掃を行う「地域環境クリーン活動」を実施しています。この活動を実施するにあたり、協力してくださる学生ボランティアを募集しています。

実施日 1月22日(木)・2月20日(金)・3月16日(月)
時間 10:45～11:45 ※5分前に本部棟2階 受付郵便室前集合

内容	駒沢大学駅から大学までの通学路や大学近辺の清掃、大学構内の環境美化
申込方法と期限	●申込方法：KONECO に掲載している「地域環境クリーン活動ボランティア登録票」をダウンロードし、印刷して必要事項を記入した上で、学生部①番窓口へ提出。 ●申込期限：参加希望日の3日前
問い合わせ	学生部①番窓口（連絡先：03-3418-9064） 事務取扱時間：平日 9：00～18：00 土曜 9：00～12：00

Clean-up Project

経済学部 小栗崇資教授が会計理論学会の学会賞を受賞

10月12日(日)・13日(月)に、関西大学の千里キャンパスで開催された「第29回会計理論学会全国大会」で、経済学部の小栗崇資教授が「会計理論学会賞」を受賞しました。

会計理論学会賞は、会計理論の発展

に貢献した研究成果に対して贈られる賞です。

小栗教授の受賞対象著作は、『株式会社会計の基本構造』(中央経済社、2014年3月刊行)です。この著作物は本学図書館でも閲覧できます。



受験生サイト「コマザワチャンネル」がオープン!

受験生のための情報を発信していくホームページ「KOMAZAWA CHANNEL(コマザワチャンネル)」を11月に開設しました。

オープンキャンパスや入試情報から、2015年度入試より



新規導入する「ネット出願」や「奨学金」などの最新ニュースまでを掲載しています。現在、大学公式YouTubeで同サイトで配信中の動画を配信しています。

第10回オータムフェスティバル開催!

11月1日(土)・2日(日)にオータムフェスティバルを開催しました。第10回目となる今年は「十年十色」をテーマに、毎年変わる大学祭の雰囲気や、学生の個性を色になぞらえた企画が準備されました。



ライブ、フリーマーケット、ミス・ミスターコンテストをはじめ、BINGO大会やスタンプラリーなどの参加型プログラムまで用意され、今年も大盛況でした。

無料法律相談と市民ロースクールを開催

11月15日(土)に、法科大学院は第一東京弁護士会の公設事務所である渋谷シビック法律事務所の協力を得て定例の無料法律相談を開催しました。大学院生が同席させていただき、相続など15件の法律相談に対応しました。



また12月20日(土)には、連続公開講座「第5回市民ロースクール」を開催し、「相続税法の基礎知識 - 改正と対応 -」をテーマに柳裕治客員教授が講義を行いました。

卒業生を迎える 第11回ホームカミングデー開催!

11月1日(土)に、第11回ホームカミングデーを開催しました。吹奏楽部によるマーチングや応援指導部ブルーベガスによる応援演技が、約1,000人の同窓生を歓迎しました。

また、日本オリンピック委員会常務理事で駒澤大学附属苫小牧高等学校卒業生の橋本聖子氏の講演「オリンピック・パラリンピックがもたらすもの」や、西修名誉教授による懐かしの授業「憲法の未来」も行われました。



駒澤大学附属苫小牧高等学校 開校50周年

10月18日(土)に駒澤大学附属苫小牧高等学校において、生徒、教職員、同窓生、宗門、苫小牧市関係者等、約900人が集い、開校50周年の記念式典を盛大に開催しました。本校は1964(昭和39)年4月に開校し、これまでに15,868人の卒業生を送り出しています。部活動ではアイスホッケー、スピードスケート、サッカー、卓球、吹奏楽等で輝かしい成績をあげ、国内外で活躍する名選手を多数輩出しています。2004(平成16)年、2005(平成17)年の全国高等学校野球選手権大会では全国優勝を果たし、深紅の大優勝旗が津

軽海峡を渡ることとなりました。また、勉学でも特別進学コースと総合進学コースを設け、有名国公私立大学への進学実績をあげています。(法人企画部)



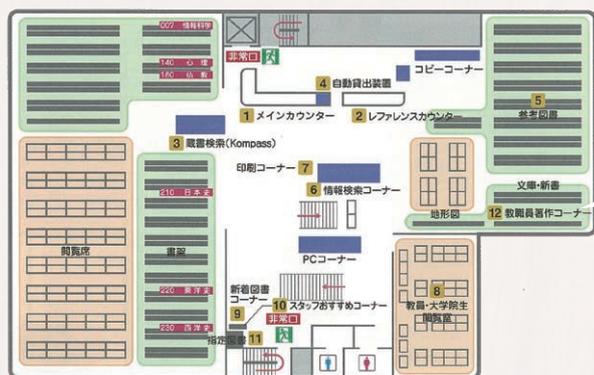
新刊紹介

2014（平成26）年に刊行された本学教職員の著作物（共著、編著、解説、監修含む）一覧です。これらは、図書館2階の「教職員著作物」コーナーなどですべて閲覧することができます。

是非、一度手にとってご覧ください。

※2014年12月1日までに図書館に配架された書籍を掲載しています。

No.	書名・出版社等	著者・編者
1	出雲古代史論攷 / 瀧音能之著. - 岩田書院, 2014.2.	瀧音能之
2	江戸の武家社会と百姓・町人 / 中野達哉著. - 岩田書院, 2014.2.	中野達哉
3	ナラティブ・ソーシャルワーク：“「支援」しない支援”の方法 / 荒井浩道著. - 新泉社, 2014.2.	荒井浩道
4	株式会社会計の基本構造 / 小栗崇資著. - 中央経済社, 2014.3.	小栗崇資
5	ジョージ・エリオットの異文化世界 / 高野秀夫著. - 春風社, 2014.2.	高野秀夫
6	電力改革と独占禁止法・競争政策 / 舟田正之編. - 有斐閣, 2014.2.	若林亜理砂
7	社会運動ユニオニズム：グローバル化と労働運動の再生 / 山田信行著. - ミネルヴァ書房, 2014.1.	山田信行
8	中華文明の考古学 / 飯島武次編. - 同成社, 2014.3.	飯島武次
9	芥川竜之介随筆集 / [芥川竜之介著]; 石割透編. - 岩波書店, 2014.3.	石割透
10	西周王朝とその青銅器 / 角道亮介著. - 六一書房, 2014.3.	角道亮介
11	政党内閣制の展開と崩壊一九二七～三六年 / 村井良太著. - 有斐閣, 2014.5.	村井良太
12	般若院英泉の思想と行動：秋田「内館文庫」資料にみる近世修験の世界 / 長谷部八朗, 佐藤俊晃編著. - 岩田書院, 2014.4.	長谷部八朗
13	アイルランド文学：その伝統と遺産 / 木村正俊編. - 開文社出版, 2014.6.	水崎野里子
14	やればできるのであります。：駒澤大学矢吹敏雄名誉教授23回忌記念出版 / [駒澤大学OB矢吹会編著].	(本学)駒澤大学OB矢吹会



図書館2階閲覧コーナー Map



教務部よりお知らせ

◎平成26年度 後期・通年科目定期試験日程について

定期試験 (集中試験)	1月13日(火)・14日(水)・15日(木)
定期試験	1月19日(月)~23日(金)・26日(月) ※26日(月)は土曜日授業の振替試験

▶2015年1月

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8 ^①	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24 ^②
25 ^③	26 ^③	27	28	29	30	31

① 1月8日は、通常の授業を行いません。補講を行う授業のみ実施いたします。
 ② 1月24日・25日は、大学入試センター試験の再試験が本学で行われる場合入講できません。
 ③ 1月26日は、土曜日振替試験日です。

定期試験は、すべて駒沢キャンパスで実施します。
 詳細は、学内掲示・大学ホームページ・KONECO等で確認してください。
 ◎1月13日・14日・15日は、専門教育科目の集中試験です。

専門教育科目集中試験は、履修者数が多いなどの理由で授業曜日・時
 限と異なる日時で実施します。

学生証を忘れずに

平成27(2015)年度 履修登録等のオリエンテーションについて

履修要項の配布にあわせて3月30日(月)・31日(火)に新年度の履修登録に関するオリエンテーションを開催します。

平成27年度はKONECOによる履修登録の方法及び日程が変更されますので、このオリエンテーションに参加し、履修登録のスケジュールを把握できるようにしましょう。なお、新年度の履修要項を基に説明を進めますので、教務部臨時窓口にて履修要項の配付を受けてからご参加ください。

履修要項・学生証裏面添付シール配布日時・場所
3月30日(月)・31日(火) 9:00~17:00 教務部臨時窓口
 説明会の開催場所等の詳細はKONECOでご案内します。

保健管理センターだより

お酒は適量に？

保健管理センター所長 西尾 誠示

学生の皆さんは「お酒は適量に」という言葉の根拠を理解していますか？
 「適量」とは単に血中アルコール濃度を0.1%以下にしろということではありません。例えば、ビール中瓶一本程度ならその値を超えることはなく、アルコールは4~5時間で体内で処理され排泄されるでしょう。この「適量」はアルコール度数に量を乗じて2500を超えない範囲が目安になります。しかし、飲酒を続けると肝臓に負担がかかるだけでなく、中性脂肪の増加や高血圧による血管障害、更には消化器系のがん、膵炎、糖尿病、痛風など様々なリスクを負うこととなります。脳へのダメージも考えてみてください。脳細胞は皆さんの

年齢では150億個あると言われておりますが、普通に暮らしているだけで毎日10万個の脳細胞が失われています。しかしお酒を飲むとその何倍もの脳細胞が失われていきます。飲酒を続け脳がアルコールに晒され続けると、脳は縮んでいき脳萎縮に至ると言われています。脳萎縮は脳の前頭葉に多く、萎縮が進むと正しい判断ができにくくなります。アルコールの量に「しきい値」はありません。「適量」であっても体に負担がかかっているわけですから、決して「適切」ではないことを理解してください。

大塚 桂 教授 逝去

平成26年11月30日、法学部大塚桂教授が急逝された。享年54歳であった。

先生は平成5年4月、本学法学部講師に就任し、平成9年4月に助教授、平成17年4月に教授になられた。また、平成19年4月から平成23年3月まで法学部政治学科主任を務め、本学発展のために尽力された。法学部創立50周年を記念して、昨年、本学図書館で開かれた貴重書展示会は、先生のご発案によるものだった。

旺盛な研究・執筆活動を続けられ、多くの著書を上梓されるとともに、法学部の研究紀要の常連執筆者でもあった。近年は万全のご体調とはいえないご様子だったにもかかわらず、執筆意欲は衰えることがなかった。ご遺稿は順次『駒澤法学』に掲載の予定である。

●訂正とお詫び

10月15日発行駒澤大学学園通信第314号13面「私のゼミ」の内容に誤りがありました。深くお詫びして、訂正いたします。

誤：経済学部 日野ゼミ
 正：経営学部 日野ゼミ

Komac 編集部



Komac 編集部とは？

こんにちは！ **Komac** 編集部です。

私たちは、経営学部 of 学生有志で不定期に経営学部の学生へ向けた広報誌『**Komac**』を発刊しています。

編集経験のないメンバーが集まったこの組織ですが、内容の企画から始まり、取材・撮影・構成を自分たちで行っています。現在は4年生3人、3年生2人の計5人で活動しており、これまでに2冊発行しました。

第1刊ではゼミ交流会の内容や、それに参加した学生へのインタビュー、第2刊では一部のゼミの紹介記事、ゼミを越えたプロジェクトを行っている学生へのインタビューなどを取り上げました。

発刊した冊子は、私たちが手渡しで関係者や学生に配布しています。

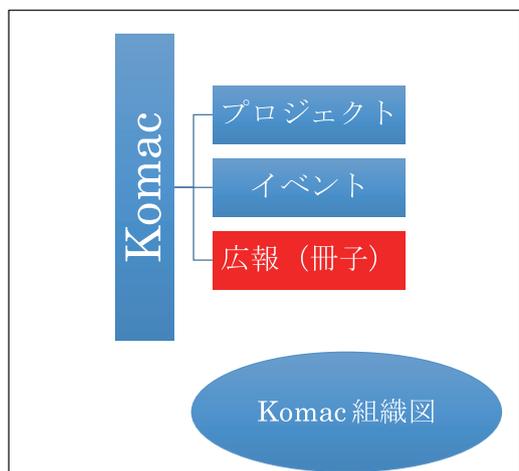


ゼミ×ゼミ＝？

経営学部には、いくつかのゼミがあるかご存じでしょうか？
実は、約 **30ゼミ** もあるのです！！学部生でも、知っている人は少ないと思います。

そんな **30** ゼミもある経営学部ですが、互いのゼミがどのような活動をしているのか知る機会が、あまりありません。

そこでこの **Komac** を通して他ゼミを知ることで、互いの研究・学習方法を知っていただけたらという思いで冊子作りを始めました。



常に学生目線

今、学生に伝えたいことは何か？学生が知りたいと思っていることは何か？

これは、編集部員が企画立案のときにいつも心がけていることです。

読者も編集者も学生という点を活かし、楽しんでもらえるような記事作りに取り組んでいます。

問い合わせ先: mi416k@gmail.com (経営学部 瀧本美希)

「学生企画」とは誌面1ページを自由に使い、学生主体で記事を作成する連載企画です。



本学硬式野球部は、11月14日(金)～19日(水)に開催された「第45回記念 明治神宮野球大会」に東都大学野球連盟代表として出場し、13年ぶり5度目の大学日本一に輝いた。



初戦(2回戦)の中部学院大学(北陸・東海3連盟代表)戦を3-1、準決勝の東京農業大学北海道オホーツク(北海道2連盟代表)戦を3-0で勝利し、決勝へ駒を進めた。

決勝は、東京六大学連盟代表・明治大学との戦い。まさに「大学日本一」を争う好カードとなった。先発は、前日の準決勝で好投した1年生の東野投手(商1)。5回をノーヒットに抑える完璧なピッチングでエースの今永投手(経済3)

に託した。今永投手は、MAX148km/hのストレートで相手打線を封じ込め3-0で勝利。主砲の江越選手(法律4)は適時二塁打を含めすべての得点に絡む活躍で、チーム一丸で手にした優勝だった。就任3年目で13年ぶりの日本一を手にした西村監督は、「信じられないの一言。来年は追われる立場、しっかりと来シーズンを見据えて新たに伸びてくる選手に期待しながらチーム作りをしていきたい。」と語った。

硬式野球部

東都大学野球リーグ26季ぶりの優勝

10月21日に行われた東都大学野球秋季リーグ戦・中央大学との第3戦において、本学硬式野球部が3-1で勝利し、26季ぶり27度目の優勝を果たした。

13年間遠ざかっていたリーグ優勝だったが、すべての対戦校(5校)から勝ち点を上げる完全優勝を成し遂げた。

江越大賀選手、阪神タイガースよりドラフト3位指名を受ける

本学硬式野球部の江越大賀選手(法律4)が、10月23日に行われた2014ドラフト会議において、阪神タイガースより3位指名を受けた。指名直後の記者会見では「大賀(たいが)という名前なので、タイガースに指名いただき、縁があったと思った。長打力を活かした選手になりたい」と述べた。色紙に記した目標は、『3割30本30盗塁』。これからの大いなる活躍を期待したい。



サークル訪問 142回

釣りクラブ

季節によって異なる種類の魚が楽しめる釣り。今回のサークル訪問は、1年を通して様々な魚と出会える釣りクラブをご紹介します。

現在所属している部員は男子8人。活動は月に1、2回と不定期ですが、主に関東圏内の釣り場で行っているため、気軽に参加できます。今年の夏には少し遠出をして、初めての夏合宿を開催しました。活動目的は「釣りを媒介として学生同士が仲良くなるきっかけを作る」と話す代表の内海さん。経験者でも初心者でも楽しく釣りができる雰囲気、学年の隔たりがなく和気あいあいとしているそうです。



内海さんに釣りの魅力を訪ねてみると、「一言では言い表せないですね。釣りをしている人それぞれだと思います。わたし自身は『釣れた魚より狙って釣れた魚』に魅力を感じま

す。狙って釣るのはなかなか難しいですけど、自分がここだと思った場所で魚が食いついてくれると嬉しいです」と、話してくださいました。また、釣りをするには新しい情報が欠かせません。釣り場や釣る魚によって最適な方法を探しだします。その釣り場に詳しい人からのリサーチは重要で、内海さんいわく『魚との知恵比べ』だそうです。



釣りにはたくさんの魅力があり、部員8人全員が違う釣りを楽しんでいます。釣り道具に魅力を感じる人、綺麗な景色をみて釣りを楽しむ人、釣った魚を料理して食べることが好きな人。それぞれに得意な釣りがあり、だからこそ好きな釣りも違うそうです。あなたも自分だけの特別な釣りを見つけてみてはいかがでしょうか。

(学生記者 駒大スポーツ所属 法学部政治学科2年 田代 愛)

サークル活動報告

ボクシング部

国民体育大会と全国大会で活躍

10月12日(日)～22日(水)に長崎県で開催された「第69回国民体育大会」の成年男子の部に、本学から選手5人が各県代表として出場。田中亮明選手(商3)が岐阜県代表としてフライ級で優勝するなど3人が入賞しました。田中選手は国体4連覇を達成しました。

また、11月20日(木)～23日(日)に和歌山県で開催された「第84回全日本ボクシング選手権大会」には9人の選手が出場し、フライ級では林田翔太選手(商4)が優勝、田中亮明選手が準優勝、ライトウェルター級では沖島輝選手(経済1)が3位に輝きました。



左から、林田選手、田中選手、アジア大会ライト級銅メダリストの清水選手(OB)



空手道部

世界大会と関東大会で活躍

10月17日(金)～19日(日)に日本武道館で開催された「船越義珍杯第13回世界空手道選手権大会」で、本学の選手と卒業生15人が出場し素晴らしい成績を収めました。優勝した種目は7つで、19～21歳の部では女子個人組手、一般の部では男子および女子団体形、男子および女子団体組手、男子個人形、女子個人組手でした。

また、11月2日(日)に開催された「第25回関東学生空手道体重別選手権大会」では、男子67Kg級で鳴島由貴選手(経済3)が優勝したほか、2人が準優勝、1人が3位に輝きました。



相撲部

国民体育大会に出場

10月10日(金)～16日(木)に長崎県で開催された「第69回国民体育大会」の相撲競技成年男子個人の部に、斎藤健選手(経済4)が出場しました。

管弦楽団

定期演奏会を開催

11月1日(土)に昭和女子大学人見記念講堂で、管弦楽団が第37回定期演奏会を開催しました。

演劇研究部

秋公演を開催

11月19日(水)～22日(土)に体育館1階談話室1で、劇団ARGOが第169回秋公演「想稿・銀河鉄道の夜」を行いました。

ギタークラブ

ウインターコンサートを開催

11月23日(日)に記念講堂で、ギタークラブが平成26年度ウインターコンサートを開催しました。

書道部

書作展を開催

12月20日(土)～23日(火)に大田区民プラザで、書道部が第48回書作展を開催しました。

吹奏楽部

定期演奏会を開催

12月20日(土)に昭和女子大学人見記念講堂で、吹奏楽部が第50回定期演奏会を開催しました。

サークルの活動予定

声援歓迎

体育会

- 一般スキー部
 - 第42回全国学生岩岳スノーフィールド／①村長杯争奪スキー大会(男女)兼アルペン男子予選会／2月17日(火)～20日(金) ②アルペン競技の部／3月15日(日)～21日(土) ③基礎スキーの部／3月1日(日)～6日(金)／長野県白馬岩岳スノーフィールド
- 硬式テニス部
 - 平成26年度関東学生新進テニス選手権大会／

頑張れ駒澤大学!! 皆さまの熱い声援をお願いいたします。

- (予選)2月4日(水)～9日(月)、(本戦)2月13日(金)～19日(木)／各参加大学テニスコート
- 卓球部
 - 天皇杯・皇后杯 平成26年度全日本卓球選手権大会／1月12日(月)～18日(日)／東京体育館
 - 平成26年度神奈川県卓球選手権大会／2月21日(土)・22日(日)／横浜国際プール スポーツフロア
 - TOKYO OPEN 2015／3月11日(水)～15日(日)／東京体育館

駒澤大学ホームページ

パソコン・スマートフォン版
<http://www.komazawa-u.ac.jp/>

フィーチャーフォン版
<http://m-serv.jp/komazawa/>

第46回全日本大学駅伝対校選手権大会

初の4連覇！ 12度目の優勝

11月2日（日）に行われた第46回全日本大学駅伝（愛知県・熱田神宮～三重県・伊勢神宮、8区間106.8km）において、本学陸上競技部が、5時間14分36秒の記録で、4年連続12度目の優勝（通算優勝回数単独最多）を飾った。

大八木弘明監督が、12月2日に開催された箱根駅伝壮行会で「絶対に勝たなければならない大会だった」と語ったこの全日本大学駅伝。本大会の4連覇は史上3校目となる快挙で、優勝回数は単独最多の12回を数える。

1区を任された村山謙太選手（経済4）は、城西大学に在籍する双子の弟紘太選手と熾烈な首位争いを繰り広げ、

そのまま2区の中谷圭佑選手（経済2）へ襷を渡した。紘太選手とはタイム差無しながら、区間賞は兄の謙太選手が獲得した。それ以降は、一度もトップを譲らずゴールまで駆け抜けた。続く3区の西澤佳洋選手（商4）は区間2位で粘り、4区の中村匠吾主将（経済4）が2位との差を2分4秒に広げて区間賞。7区を走った黒川翔矢選手（現代応用経済4）も区間賞でアンカーに繋ぎ、最終8区の馬場翔大選手（商3）は「4連覇」を表すように指を4本立て、笑顔でゴールした。2位の明治大学とは2分47秒の差をつける圧勝で、王者の威厳を示す安定したレース展開をみせた。



2区中谷選手から3区西澤選手へ



ゴールした馬場選手を笑顔で迎える選手たち

第46回全日本大学駅伝対校選手権大会記録

□ 区間賞 上段（個人順位）タイム 下段（通算順位）タイム

総合成績 (106.8km)	第1区 (14.6km)	第2区 (13.2km)	第3区 (9.5km)	第4区 (14.0km)
優勝 駒澤大学 5:14:36	村山 謙太 (1) 42:58	中谷 圭佑 (2) 38:21	西澤 佳洋 (2) 27:34	中村 匠吾 (1) 41:01
	(1) 42:58	(1) 1:21:19	(1) 1:48:53	(1) 2:29:54
	第5区 (11.6km)	第6区 (12.3km)	第7区 (11.9km)	第8区 (19.7km)
	工藤 有生 (2) 34:09	西山 雄介 (2) 36:00	黒川 翔矢 (1) 34:46	馬場 翔大 (5) 59:47
	(1) 3:04:03	(1) 3:40:03	(1) 4:14:49	(1) 5:14:36

第91回東京箱根間往復大学駅伝競走

チーム力と襷への思いで総合2位に！

1月2日（金）・3日（土）に開催された第91回箱根駅伝（東京・大手町～箱根・芦ノ湖往復、全10区間217.1km）において、本学陸上競技部は11時間00分17秒で総合2位の成績を収めた。

今シーズン最も優勝に近いチームと評され、7年ぶりとなる悲願の総合優勝を目指した今大会。往路では、主将の中村選手（経済4）が1区区間賞の走りで好スタート。2区村山選手（経済4）が東洋大学に抜かれるも2秒差で3区に繋ぐ。続く3区中谷選手（経済2）が再び首位に躍り出て区間賞、4区工藤選手（政治1）も区間新記録の走りを見せた。と

ころが往路最終5区の馬場選手（商3）は、積雪で冷え込んだ箱根路で体調不良に。終盤から徐々に足取りが重くなり、ゴール直前で足がもつれながらも気力で襷を選び、往路4位でゴールした。

復路では、6区西澤選手（商4）、7区西山選手（経済2）が1位ずつ順位を押し上げ、2位に浮上。首位の青山学院大学とは最終的に10分以上差がついたものの、8区大塚選手（経営2）、9区其田選手（経営3）、10区黒川選手（現代応用経済4）が、意地の走りで総合2位の準優勝に輝いた。

その後行われたOB会主催の慰労会

で、来シーズンの主将には其田選手が指名された。今年も、陸上競技部の長い1年が幕を開けた。



沿道の声援を受けゴールを目指す10区黒川選手

第91回東京箱根間往復大学駅伝競走記録

□ 区間賞 □ 区間新 上段（個人順位）タイム 下段（通算順位）タイム

総合成績 (217.1km) ※	往路 (107.5km)	第1区 (21.3km)	第2区 (23.1km)	第3区 (21.4km)	第4区 (18.5km)	第5区 (23.2km)
総合2位 駒澤大学 11:00:17	往路記録 (4) 5:31:23	中村 匠吾 (1) 1:02:00 (1) 1:02:00	村山 謙太 (4) 1:07:46 (2) 2:09:46	中谷 圭佑 (1) 1:02:40 (1) 3:12:26	工藤 有生 (2) 54:31 (1) 4:06:57	馬場 翔大 (17) 1:24:26 (4) 5:31:23
	復路 (109.6km)	第6区 (20.8km)	第7区 (21.3km)	第8区 (21.4km)	第9区 (23.1km)	第10区 (23.0km)
	復路記録 (2) 5:28:54	西澤 佳洋 (3) 59:21 (3) 6:30:44	西山 雄介 (2) 1:03:26 (2) 7:34:10	大塚 祥平 (2) 1:05:45 (2) 8:39:55	其田 健也 (3) 1:09:25 (2) 9:49:20	黒川 翔矢 (8) 1:10:57 (2) 11:00:17

※ コース変更により、総距離が217.9kmから217.1kmとなった。

第26回出雲駅伝 台風接近に伴い、初の中止に

3大駅伝の初戦となる10月13日の出雲駅伝が、台風19号の影響で中止となった。大会の開催中止は史上初。